

はじめにお読みください

このたびは IoT用HMIデザインツール「MatrixEngine」のご利用をお申込みいただき、誠にありがとうございます。

本書は「MatrixEngine SDK」を初めてご利用になる方向けの導入テキストです。ご提供するツール一式の内容やファイル構成、ライセンス等についてご案内いたします。

【本書の内容】

1. [ご提供内容](#)
 2. [MatrixEngine SDK 及びプラグインについて](#)
 3. [お問い合わせ](#)
-

1. ご提供内容(無料版)

ファイル構成は次の通りです。(「+」はフォルダを、「-」はファイルを表します。)

- + 1. 導入ガイド
 - Matrixngine概要.pdf
 - 環境構築ガイド.pdf
 - GUI Object概要.pdf
 - + 2. MatrixEngine SDKおよび各種プラグイン
 - + A. MatrixEngine SDK
 - + B. PSDインポーター
 - はじめにお読みください(本書)
-

各フォルダの内容は以下の通りです。

1. 導入ガイド

- はじめてMatrixEngineをご利用になる方に向けたガイドドキュメントが含まれています。
導入にあたって是非ご一読ください。
- 「MatrixEngine概要」では、おまかに仕組みや考え方を紹介しています。
- 「環境構築ガイド」では、MatrixEngine SDKのインストールとプラグインの導入手順についてご案内しています。
- 「GUI Object概要」では、MatrixEngine専用ライブラリ「GUI Object」で扱えるコントロール(GUI部品)について紹介しています。

2. MatrixEngine SDKおよび各種プラグイン

- MatrixEngine SDK本体(A)と、開発効率を上げるための各種プラグイン(B~E)があります。「[2. MatrixEngine SDK及びプラグイン](#)」を参照ください。
また、本体のインストール手順とプラグインの導入方法については「 0. 導入ガイド」内の「環境構築ガイド」を参照ください。
- 容量の関係上、アーカイブファイルにてご提供しています。各フォルダに存在するアーカイブファイルを適宜解凍してご利用ください。
- A~Eそれぞれのソフトウェアにヘルプ/ドキュメントを用意しております。zipファイルに含まれている場合もございますので、解凍してご確認をお願いいたします。

2. MatrixEngine SDK 及びプラグインについて

統合開発環境であるMatrixEngine SDK本体以外に、開発を簡易化するための各種プラグインをご提供しています。

本体のインストール手順とプラグインの導入方法については「 0. 導入ガイド」内の「環境構築ガイド」を参照ください。

※無料版ではA、Bのみご利用いただけます。

A. MatrixEngine SDK

オーサリングツール本体です。

B. PSDインポーター

MatrixEngine SDK向けのプラグインです。Photoshopで作成した素材(PSDファイル)をMatrixEngine SDKにインポートできます。「Photoshop向けPlugIn」と合わせてご利用いただくと、デザイン制作との協働効率がより向上します。

C. Photoshop向けPlugIn

Photoshop向けのプラグインです。

MatrixEngine SDKに取り込むためのPSDファイルを簡単・効率的に作成できます。

D. OutlineBuilder

MatrixEngine SDK向けのプラグインです。一定パターンでコードを自動生成できる便利ツールです。

E. GUI Object

MatrixEngineスクリプトで記述されたライブラリ群(コントロールモジュールとフレームワーク)です。

3. お問い合わせ

ご利用上の不明点は、担当営業または以下のフォームよりお問い合わせください。

また、弊社ではMatrixEngineの操作レクチャー及びMatrixEngineを利用した開発のご相談も承っております。お気軽にご連絡くださいませ。

お問い合わせ : <https://www.matrixengine.jp/contact>

私たちはHMIデザインに取り組む方々のリアルなフィードバックを求めていきます。

気になったことやこんな機能があれば等、忌憚ないご意見を頂けるととても嬉しいです。